



# 森ボラ 通信

第155号 2015年4月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

### ◆ 奥尻島の栗

昨年の奥尻島研修旅行で拾い集めてきたクリを和田さんが6か月間自宅の冷蔵庫で保管（9月27日～4月1日）しました。約半分が発根していました。長いもので10cmほどありました。ポットで養生して奥尻島のクリとして育てましょう。

（文・事務局、写真・和田）



### ◆ 親子森林教室立ち上げの為の勉強会

来年度から立ち上げる親子森林教室通称“森しり隊”は、従来から歩んできた路線に加え新しい分野への挑戦です。



昨年8月に準備委員会を立ち上げ事務局を中心に準備に掛かり2月の会員例会でその骨子を発表しました。この1年を通して4月から本番に向けてシミュレーションを開始します。3月18日、道庁水産林務部木育推進G.の工藤森生氏に“親子を対象とした森林教室を行うために”と題してご講演を頂きました。

#### I 子供と接する時のいくつかのポイント

1. 自己紹介では子供たちに覚えて貰える様にアクセントを持ってアピールする。
2. 子供目線でいつもニコニコ、大きな声で優しく接

し、時には愛をもって怒る。

3. 資料による説明は抑えて野外では両手を使える状態で活動させる。
4. 豆知識やココだけの話！君だけに教えて上げる！…、身近なところからお得感を感じて貰える様なネタ探しをする。
5. 小道具（コンベックス、三角定規、タコ糸、大型ごみ袋、ルーペ、落書き用のマジックボード等）を使いながら対象物を実感して貰う。
6. 子供は我儘で泣く、叫ぶ、飽きる、走り回る、を認識しながら接する。

この様な事を我々がイメージしている指導者像とオーバーラップさせて見たら如何でしょうか？

**II 参加してくれる子供達や親御さんに“森しり隊”に愛着を持ってもらう導入部として次の様な事を提案してくれました**

環境教育の一環としての“ゴミ拾い”はこれから自分たちの住処となる基地の掃除に始まり自然界の影響を考えて貰う場となる事と林内の生き物調査では植生状況（木本、草本）、小道具を使った樹木の簡易測定（直径、樹高等）、観察手帳、葉っぱ等の収集、動物の痕跡探し等で活動フィールドを知って貰う。自分達の木を決めて樹名板を作成してより森に愛着を持たせる事の重要性を知りました。

### Ⅲこのプログラム実施に当り理解して置きたい事

- 子供たちはこのフィールドでどんな活動をしたいのかを聞き出し予定のメニューと組み合わせせしめず子供達の提案を実現して行く。
- 必ず保護者に引率して貰い人任せにならない様に責任問題、活動の確認、承認者を共通認識して行く。

以上の事を勉強しましたが、作業チームでは森しり隊活動スケジュールと学習資料を作成してこの一年を通して親子森林教室立ち上げに奔走しています。

今回の工藤氏の講演は目に鱗をなるものを喚起してくれました事に感謝致します。(文・事務局)

## ■ 活動報告

### ◆ 斎藤りんご園作業開始

4月6日(月)今年最初のりんご園の支援作業として老木処理、剪定枝のチップング処理を行いました。例年より10日ほど雪解けが早く泥との戦いでもありますがほぼ予定通り作業を進めることができました。

今年は根元の樹周1.9m(直径60cm)の木2本、1.5mの木1本を含め5本の処分で、何時ものことながら、開園(昭和7年)以来美味しいりんごを作り続けてくれた木を処分するのは我々にも通じ辛いものがあります。

また、剪定枝は冬の間に剪定されきちんと集められており、効率よくチップパーで粉碎処理をすることができました。



斎藤りんご園では昭和62年より環境保全型農業を目指し土づくり、化学肥料・化学農薬の低減へと取り組んでおり、その努力が認められ平成14年札幌市のエコファーム第一号として北海道に認定されています。毎年この時期、剪定枝は粉碎され土へと更にはりんごへと還元され美味しくしているのです。

斎藤ご夫妻は今年もご愛顧頂いているファンに美味しいりんごを届けるべく頑張るとのことです。これから、5月の摘花、摘果、袋かけ、袋外し、葉もぎ、最後に収穫へと11月まで40回ほどの作業が続きます。是非とも協会の皆様のご支援が必要です。ご協力のほどよろしくお願い致します。

(文・和田)

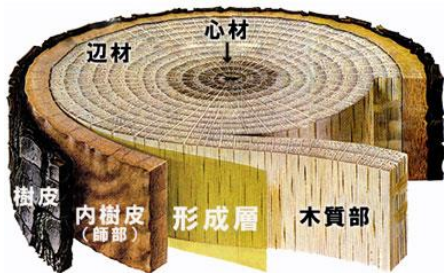
### ◆ ニセアカシアの巻枯らし(澄川E-2区)

3月24日(火)は生憎の小雪まじりの中、16名の精鋭(?)がチェーンソー組と巻枯らし組に分かれニセアカシアの駆除に取り組んだ。チェーンソー組はコクワのツル絡みで荒廃した地区を担当したため掛り木の連続で悪戦苦闘。

巻枯らし組は尾根沿いの地区でニセアカシアに取りかかり、短時間で20本を処理した。巻枯らしは「環状剥皮」と云われ、地上部1m以上にわたり、形成層から外側の師部(内樹皮)と樹皮を剥ぎ取り、樹を枯らす方法で、誰でも簡単に出来る方法です。

特に師部は葉で光合成された糖類等の栄養分を根に運ぶ重要な役割を持つ部分で、これを剥皮することにより根を兵糧攻めにし弱らせ枯らすのです。水分は辺材部を通して葉に運ばれるため、この方法では水枯らしにすることは出来ず、枯れるまでには若干時間がかかりますが、伐採と較べて萌芽の数が少なく、しかも萌芽の勢いが弱く下刈りが比較的楽と云われています。

今後、ニセアカシアが開葉、開花で蓄えていた養分を使い切った初夏に巻枯らしを行い、ニセアカシアに与えるダメージが開葉前と後でどう違うか比較する予定です。



ニセアカシア（マメ科ハリエンジュ属）は明治の初期に北米からアカシアの名で導入されたが、その後、本来のアカシア（マメ科ネムノキ亜科アカシア属）が輸入されるようになり、区別するため学名から「偽のアカシア」→「ニセアカシア」と云われるようになった。だがアカシアと混同されて使われることが多く、北原白秋の「この道はいつか来た道・・・」、廃顔的な西田佐知子の「アカシアの雨がやむとき」、更には裕次郎世代にはなつかしい「赤いハンカチ」や「恋の町札幌」などではアカシアとうたわれ、観光地並びに養

蜂業者にとっては重要な樹種ではあるが。

当初、ニセアカシアはマメ科特有の根粒菌との共生で成長が早いので、他の樹種が生育しないやせ地、荒地、はげ山等の治山、砂防、緑化木として大いにもてはやされ植栽されてきた。先駆樹種として生長が早いうえに、再生力、競争力が旺盛で、種子から発芽するだけでなく、倒木、切り株からの萌芽、水平根からの根萌芽で一気に生長し他の樹木を被圧駆逐し優占してしまう。しかも、浅根性で高木になりすぎるため極めて倒れやすく、荒廃してしまう欠点が目立ち始め各地で除去、駆除に取り組んでいるが、根萌芽による再生力が強いので駆除には5～6年かかると云われています。



当協会では、昨年2月策定した澄川環境林基本計画で「生物多様性を持った巨木の森」作りを目標に、澄川全域で外来種であるニセアカシア・クズの駆除を基本方針に掲げています。

最後に蛇足ですが、アカシアの花のてんぷらは美味しいが、花以外は葉、幹、樹皮、根に毒があり誤食すると消化器系に中毒症状があらわれると云われています。ご注意ください！（文・和田）

## ■お知らせ

### ◆第13期定期総会開催のお知らせ◆

第13期定期総会を下記の通り開催します。

日時：2015年5月2日（土）15：30～16：15

会場：札幌市エルプラザ2F・環境研修室2・（札幌市北区北8条西3丁目/TEL・728-1222）

※なお、開催に当たり議決委任状を発送しております。ご都合で出席できない会員には事前に事務局あて委任状の送信をお願いいたします。

議案	第一号議案	2014年度事業報告、決算報告、監査報告承認の件
	第二号議案	2015年事業計画、予算計画承認の件
	第三号議案	森ボラ協議会に係る件
		2014年度事業報告、決算報告・2015年度事業計画(案)、予算計画(案)

以上

## ■今月の幹事会

出席者：市山・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野(備)・矢澤・和田

1. 新幹事として加藤秀雄さん、清澤通俊さんが出席・・・今後とも宜しくお願ひします
2. 5月、6月スケジュール・・・幹事会 5月8日(金)
3. プロジェクト別現場リーダー制度の対応・・・5月から業務委員会で作業日ごとに担当プロジェクトの割り振りを作業参加申込書に記載します。
4. 第13期定期総会及び理事会件
  - 4月24日(木)：臨時幹事会(案件の確認)
  - 5月2日(土)：理事会・15:00～15:30 エルプラザ3F 多目的室  
総会・15:30～16:15 エルプラザ2F 環境研修室2
5. 親子森林教室(森しり隊)報告
  - 森しり隊の活動タイムスケジュール(案)の確認
  - 4月15日(水)親子森林教室説明者打ち合わせ(13:30)
  - 出席者：酒井、高野、荻田、佐野、湯澤、田山、森しり隊事務局メンバー
  - 5月7日(木)澄川散策路シミュレーションの検証
6. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・2015年度予算案の報告と今後の対応検討
7. 委員会報告
  - 広報委員会(土・日ボランティアHP案内) 業務委員会(2014年度活動日確定版)
  - 助成委員会(新規プロジェクトの助成先の模索)
  - 研修旅行計画案・・・9月24日(木)～25日(金)・黒松内歌オブナ林研修
8. その他
  - 2014年度会計報告・・・準備金として15周年記念事業と親子森林教室を計上

■ 新入会員紹介：三橋次郎さん(趣味は山歩き)。4月9日から参加しています。

## ■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
3月17日(火)	澄川	15	E-2・3に係るニセアカシア除伐・ツル切
3月18日(水)	エルプラザ	17	セミナー：親子を対象とした森林教室を行う為に北海道庁 木育推進G. 工藤森生氏
3月20日(金)	澄川	12	E-2ニセアカシア除伐(33本)の集材及び蔓切作業
3月24日(火)	澄川	16	E-1尾根筋のニセアカシア20本巻枯らし作業
3月27日(金)	澄川	13	E-2薪用・製材用のニセアカシア伐木の集材作業
3月31日(火)	澄川	11	上流橋改修用杭(劣化が著しい)を40本選別確保
4月2日(木)	澄川	17	E-2で間伐・懸り木処理(12本)・集材・皮むき
4月6日(月)	リンゴ園	8	老木処理(5本)、剪定枝のチップング処理
4月7日(火)	澄川	14	今日でニセアカ7本間伐してE-2の伐採作業終了
4月9日(木)	澄川	16	上流境界地区の調査。ニセアカホダギ用30本玉切
4月10日(金)	ラルズビル	12	幹事会
4月13日(月)	澄川	16	懸り木から70名分のかんじき用コクワの蔓集材